



# 品川区



品川区は、東京湾に面した臨海部と山の手に連なる台地からなり、江戸時代には東海道第一の宿として賑わい、古くから交通・交易の拠点として栄え、明治時代に入ってから、京浜工業地帯発祥の地として発展してきました。そして、現在、品川駅へのリニア中央新幹線の乗り入れに加え、大崎駅西口バスターミナルや水辺の整備により、再び交通と産業の拠点として重要な役割を担おうとしています。「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」の実現を目指し、安全・安心なまちづくりを行い、未来に向かって希望や夢があふれ、活力ある品川区づくりに力を注いでいます。

## 最先端の施設計画



エコルとごし北側外観イメージ

令和4年5月開設予定のエコルとごしは、地球環境に配慮した施設計画が国より評価され、都内公共建築物としては初となる「Nearly ZEB」認証を取得しました。これからも最先端の技術を活用した地球環境にやさしい施設計画を進めてまいります。

## 市街地再開発事業



商店街などの地域資源を活かしつつ、木造密集市街地の更新とあわせて、広場や回遊性の高い歩行者ネットワークを形成することで、将来品川区のシンボルとなるような、賑わいのあるまちづくりを進めています。

## 誰もが親しめる公園づくり



公園は区民の憩いの場であると同時に、災害時の避難場所にもなる、大切な資源です。区道接続部や運河沿いに公園を拡張することで、公園への入口が増え、安全・安心でより魅力的な景観になりました。